

YSE *eye*

YSE QUARTERLY MAGAZINE

【ワイエスアイ】

vol.17

| 2019年 秋号 |
autumn issue 2019



「伊勢原市日向」撮影：学院長



理事長 学院長
杉山 勝巳

学ぶ意欲のあるすべての学生に学ぶ機会を与え、人づくりを行ってゆくために、修学支援新制度（下図参照）が、令和2年度より施行されます。

従来のように、奨学金や教育ローンを利用したり、アルバイトに多くの時間を費やさなくても、学業に専念できる教育環境が用意されました。今まで、返済の伴う奨学金等を利用してきた学生は、卒業後、長期にわたる返済負担が続いています。

返済は、自分一人だけでも大変ですが、将来、家庭を持ち夫婦が共に奨学金等を利用してした場合、返済負担は倍増してしまいます。

それだけに、将来に大きな負担を抱えず、安心して学業に打ち込み、充実した学生生活を送れる修学支援環境が用意されたことは、多いに歓迎されることです。

専門学校や大学等に進学を指している学生が支援対象になっています。当制度を利用する学生は社会の期待に応えて学業に発奮し、これからの時代に求められる見識やスキルをしっかりと身につけていただきたい。

当制度が利用できる認定校は令和元年9月に公表されます。当制度認定校に入学する学生は適用条件を満たしていれば、申請手続きをすることにより、当制度が適用され、将来に負担を残すことなく、学業の道をまい進することができます。

本校も、当制度認定機関の申請を行っています。

令和2年4月1日／通常国会で法成立 令和元年5月10日
（平成30年12月28日関係閣僚合意より）

高等教育の修学支援新制度について（実施時期【幼児教育・高等教育無償化の制度の具体化に向けた方針】）

- 【支援対象となる学校種】大学・短期大学・高等専門学校・
- 【支援内容】①授業料等減免制度の創設 ②給付型奨学金の
- 【支援対象となる学生】住民税非課税世帯及びそれに準ずる（令和2年度の在学学生（既入学者も含む））
- 【財源】少子化に対処するための施策として、消費税率引上国負担分は社会保障関係費として内閣府に予算計上、

専門学校
支給の拡充
世帯の学生
から対象）
げによる財源を活用
文科省で執行

所要額（試算） 約7,600億円
（国約 7,100億円 地方 約500億円）
※支援対象となる低所得世帯の生徒の高等教育進学率が全世帯平均（約80%）まで上昇した場合の試算

当面のスケジュール
令和元年 6月 予約採用の手続開始
9月中下旬 対象大学等の公表
令和2年 4月以降 学生への支援開始

本校では、次のような奨学制度を設けています。認定機関になると当修学支援新制度とあわせてご利用いただけます。

関心をお持ちの方は、本校ホームページをご覧ください。
<http://www.yse.ac.jp/>

- 特待生制度
- IT女子特別奨学制度
- 学費延納制度
- 奨学金活用学費特別納入制度
- 自宅外通学サポート制度
- 県外通学サポート制度
- 遠距離通学サポート制度

以下の制度についても、ご希望の方には、円滑に手続きできるようにサポートしています。

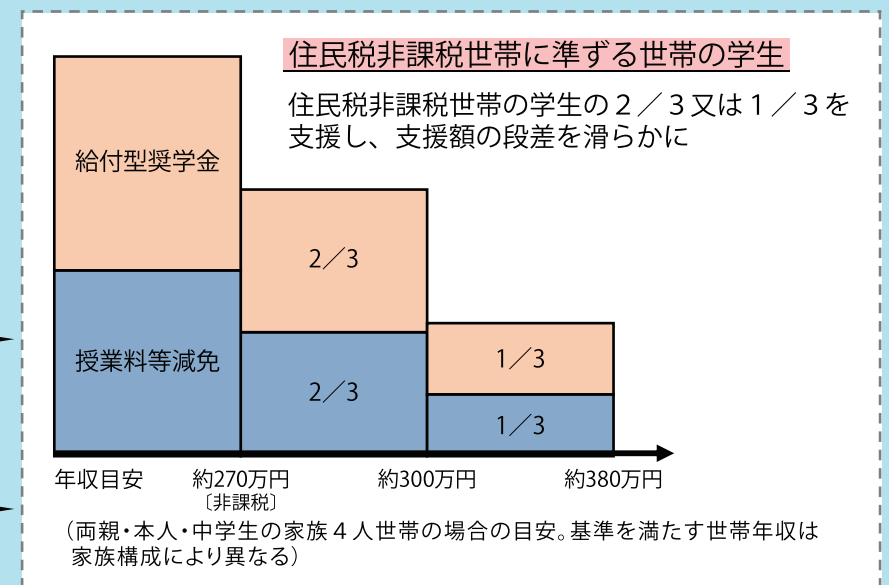
- 国の奨学金
- 教育ローン

授業料等減免
○各大学等が、以下の上限額まで授業料等の減免を実施。減免に要する費用を公費から支出（授業料等減免の上限額（年額）（住民税非課税世帯））

	国公立		私立	
	入学金	授業料	入学金	授業料
大学	約28万円	約54万円	約26万円	約70万円
短期大学	約17万円	約39万円	約25万円	約62万円
高等専門学校	約8万円	約23万円	約13万円	約70万円
専門学校	約7万円	約17万円	約16万円	約59万円

給付型奨学金
○日本学生支援機構が各学生に支給
○学生が学業に専念するため、学生生活を送るのに必要な学生生活費を賄えるよう措置（給付型奨学金の給付額（年額）（住民税非課税世帯））

国公立 大学・短期大学・専門学校	自宅生約35万円、自宅外生約80万円
国公立 高等専門学校	自宅生約21万円、自宅外生約41万円
私立 大学・短期大学・専門学校	自宅生約46万円、自宅外生約91万円
私立 高等専門学校	自宅生約32万円、自宅外生約52万円



- 支援対象者の要件**
- 進学前は成績だけで否定的な判断をせず、レポート等で本人の学習意欲を確認
 - 大学等への進学後の学習状況に厳しい要件
- 大学等の要件：国又は自治体による要件確認を受けた大学等が対象**
- 学問追求と実践的教育のバランスが取れた大学等
 - 経営に課題のある法人の設置する大学等は対象外

※詳細は、文部科学省ホームページ「高等教育段階の教育費負担軽減」参照

(http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm)

令和2年4月より施行

今年の夏も猛暑、台風、豪雨と大変な夏でした。皆さんは部活やアルバイトで汗を流し、あるいは夏季セミナーで集中的に勉強したりしてきたかと思えます。途中で挫折することなくつづけられましたか。

皆さんが今やっていることを始めようとした理由はいろいろあると思います。憧れの人に振り向いてもらいたい、あの人には絶対に負けたくないなどさまざまな理由から始めたのではないのでしょうか。どんなきっかけであれ新しいことにチャレンジすることは大変すばらしいことだと思います。さらにそれを最後まで続けてやり遂げることは大変ですがやり遂げたあとの達成感は何物にも代え難いものです。

皆さんが今、取り組んでいることは決して楽なものではないはずです。部活だったら酷暑の中で「私は何でこんなつらいことをやっているんだろう」、勉強だったら「私の今やっていることはこれでいいのかな」などの「迷いや、「やめてしまおうか・・・」などと耳元でよからぬ囁きが聞こえているかもしれません。

そんなとき、皆さんはどうしていますか。歯を食いしばって何とか根性で乗り切ってしまうおうという人が多いかと思えます。安易に妥協せず最後までやりきる。それはそれで大変重要なことです。そういう苦労が大きければ大きいほど後の達成感は大いものです。ただ、あまり頑張りすぎて心や体がつぶれてしまっ

そこで大事なのが心の休憩です。目の前の今やっていることでも、もう少し先のこともよいのですが、これが終わったらなんか楽しいことをしようとか、先の明るい未来を思い浮かべましょう。ちょっと心に未来の遊びの時間をとってあげることにによりやる気のスイッチが入ったり、今の苦しいことが和らいだりします。人によっていろんな方法があるかと思いますが、いろんなやりかたでほんの少し心を休憩させてあげましょう。

あと、笑顔もとても大切です。自分の心に余裕を取り戻してくれれます。また、自分が笑顔だと話しをしている相手も不思議と笑顔になります。こちらが心配そうな顔をしていると相手も何事かと思いき心配そうな顔になります。き

っと、みなさんの周りの人も部活や受験で同じような悩みをもっているかと思えます。ここはあなたが笑顔の発信地となってみんなを元気にして初志を貫徹しましょう。

筆者
特任教師
公認情報システム監査人
中村 照栄



国会議事堂の秘密

今年7月に第25回参議院議員選挙が行われ、総務省の発表によると投票率は全体で49%でした。ただし、有権者のうち18歳の投票率は35%、19歳では28%と前回を下回る結果となりました。

2015年6月に選挙に投票できる年齢を20歳以上から18歳以上に変更する公職選挙法改正案が成立しましたが、若者の政治離れが止まらないとも言われています。政治そのものは難しく取り付きにくいところがありますが、今回は日本の政治が行われる国会議事堂にまつわる秘密を四つご紹介します。

①銅像のない台座
国会議事堂の中央広間の四隅には日本の政治に貢献した偉人の銅像が三つありますが、一箇所だけ台座しかなく上には何も乗っていません。これには諸説あるようですが、『政治とは常に未完のものであるため、より偉大な政治家の登場を期待する

象徴!』という説が有力です。



引用：参議院ホームページ

②8階にはダンスホール?

中央の建物は7階まで吹き抜けの高い天井があり、その上には広い空間の真ん中にらせん階段がつけられています。このフロアが何のためにつくられたのか諸説ありますが、戦前は国会関係者や議員のダンス練習場に



引用：ネクストライブラリーホームページ

③国会議事堂の一番上は?

8階のらせん階段を上がると国会議事堂の一番上、9階です。建てられた当時は日本一高い建物(塔を除く)だったため、展望台や灯台としても使われていたようです。柱には建設当時の名称である「帝国議事堂」と書かれています。



引用：ITSCOMホームページ

④石の博物館

国会議事堂建設のための資材は、当時の最高品質の国産品が使用されています。玄関には山口県周南市(旧徳山市)の黒髪島でとれる御影石、階段脇には巻き貝やサンゴの化石が見つかる琉球石が使われています。また、床は平成になって改修された際、ピサの斜塔やミケランジェロのダビデ像にも使われた白い石、ピアノカララが敷かれています。ピアノはイタリア

語で白、カララは産地の地名です。床や壁、柱に使われている石材を見るだけでも一見の価値ありですね。



引用：ITSCOMホームページ

以上のように国会議事堂は建物としても多くの魅力を持っています。見学を希望する場合はツアーが開催されており、本会議場、御休所、貴族室、中央広間などを見ることが出来ます。9名以内であれば予約の必要はなく無料で見学できます。日程や見学コース等は衆議院、参議院の各ホームページで確認できますので、是非一度自分の目で確かめてみてはいかがでしょうか。

筆者

特任教師

シニアキャリアアドバイザー

杷野 恭久



参議院ホームページ

今回はITライセンス科で使用している「Cloud Campus」についてご紹介しました。今回は授業に必要なコミュニケーションツールについてご紹介します。

通信制の利点は「自分のペースで学修」ができることです。パソコンやスマホで授業を視聴し、自宅のパソコンでプログラムを書いてスキルを身につけることができます。

ただし「自宅」「独りで」学習を進めるには、実際にはかなりの困難があります。なぜなら新しい勉強に取組む人は必ず、「悩み」「ゴールが見えない不安と戦い」「技術・知識の疑問が次々発生」するからです。

それらの問題を解消する方法は、「密なコミュニケーション」です。担当講師と気軽にやりとりしながら「進捗チェック」「疑問点などの問題

解決」を図ります。

しかし教室ならともかく、自宅学習でいったいどのような「密なコミュニケーション」が可能なのでしょうか？

「LINE」を利用している方は多いと思います。そのLINEと同じ感覚で先生とやりとりできたら、心強いと思いませんか？ITライセンス科では、LINEの代わりに業務用SNS「Slack」を使ってコミュニケーションを取っています。

Slackは世界で1、2を争うビジネスチャット（業務SNS）サービスです。150の国と地域で毎日1000万人以上のユーザが利用しています。

Slackは「グループチャネルで質問を共有」「個人のDM（ダイレクトメッセージ）で個別相談」ができます。

Slackのサンプル画面



ITライセンス科では「課題のこの部分がわかりません」「プログラムのエラーが意味不明！」等、Slackを使えばまるで教室にいるかのように、思いついた時すぐに質問できます。

さて、Slackを使ったコミュニケーションとCloud Campusに支えられて、ITライセンス科は離れていても教室と同様にやりとりできる学科になっています。

【ネット体験・ネット出願】

YSEではITライセンス科以外にもeラーニングを取り入れる試みとして、「ネット体験授業」をスタートしました！

YSEの3学科をそれぞれひとつの体験授業としてCloud Campus上に設置し、様々な技術に挑戦できるようにしました。

「IT・ゲームソフト科」ではプログラミング、「ロボット・IoTソフト科」ではロボット制御、「AIサービス活用科」では人工知能を扱うeラーニングコンテンツを掲載しています。

さらに出願もネットからお申し込みができます。

ご希望の方はYSEのwebサイトよりお申し込みください。

YSEホームページ



筆者
専任教師 吉野 太智

AI入門 第6回

今回は「RPA」について話をしました。これは仕事の分野で広がっている技術ですが、もっと身近なところで人間とコンピュータのやり取りがあります。何だか分かりますか？スマートスピーカーといわれるものです。すでに広く認知されている商品だと思えます。Google社やAmazon社はアメリカでスマートスピーカーを先行販売していました。日本では2017年10月にGoogle社とLINE社が、11月にAmazon社が販売開始しました。8月23日にはAppie社が日本で販売開始するというニュースが流れてきました。「OK, Google、明日の横浜の天気は？」「Hey, Siri、楽しい音楽をかけて」といった具合に呼びかけをして、その結果を答えてもらったり、その要望に応じたアプリケーションを起動して動作したり、と大変便利な道具となっています。

スマートスピーカーの基本の技術は「音声認識」で、人の声をコンピュータが認識する技術です。音声認識は人が話した言葉を認識すること、認知した言葉から意味を捉えることの2つから成っています。前者はコンピュータ上で文字列を作成する技術、後者は文字列から内容を読み取る技術が必要になってきます。これらの分野の研究は古くから行なわれていました

が、近年のAIの発展とともに後者の内容を読み取る技術が急速に進歩しました。この技術のひとつに言語の構造解析というものがあります。文章から単語を切り出し、その単語がどのような役割なのかを調べていきます。

「わたしは横浜の専門学校でAIを勉強しています」という文章があったとき、「わたしは横浜の 専門 学校 で AI を 勉強 して います」とのように単語を切り出し、ま

造を見つけます。コンピュータは単なる単語としか認識してないので、まとまりを作ることがとても大変でしたが、AIによつてどこで区切ればまとまりが作れるかということが分かるようになってきました。また依存構造とはここでは「わたしは ↓ 勉強 して います」

や「専門 学校 で ↓ 勉強 して います」になります。ほかにも依存構造があります。「横浜 の ↓ 専門 学校」

もそのひとつです。日本語は「てにをは」がある関係で構造がとても複雑です。また主語が抜けていても文章が成立するため、依存構造を解析することは困難でした。しかし、以前話をしたAI第二次ブームの下火の原因でもある「大量のデータ」が人によるデータ入力から、技術の発展により自動で大量にデータ収集でき、ビックデータが生成されました。これはセンサー（類語辞典）の分野になつてしましますが、ビックデータから比較的似た構造を探すことで依存構造を解決できる可能性が広がりました。



筆者
専任教師 三輪 基敦

「シリーズ I T お仕事図鑑」第10回は「データベースエンジニア」編です。

データベースエンジニアの仕事は、データベースの設計・管理・運用などを行うことです。では、データベースとは何でしょうか？ データベースは、データの基地です。基地とは、同じものを集めて管理しやすきしたものです。例えば、鉄道の「車両基地」は、運行させている車両を集めて点検・整備・清掃などを行う場所です。データベースは、大量のデータを集めて管理し、利用しやすきしたコンピュータシステムの一種です。

データベースを構築するには、一般的にはデータベース管理システム(略してDBMSといます)というソフトウェアを使います。商用(仕事で使われ

る)DBMSとして一番有名なものは、オラクル社が開発している「Oracle」という製品です。マイクロソフト社が開発している「SQL Server」という製品もあります。また、フリー(無料で使用できる)のDBMSもあり「MySQL」というソフトウェアが有名です。

データベースの構築・管理・運用を行うためには、SQLというデータベース用のコンピュータ言語を使います。つまり、データベースエンジニアは、SQLを使いこなせることが求められます。SQLは世界的に標準化されており、前述した「Oracle」「SQL Server」や「MySQL」でもほぼ同じSQLを使って定義・操作することができます。しかし、DBMSは高性能化・高機能化が進んで複雑化しており、各社

の製品について精通していることも求められています。

顧客のID・パスワードが流出したというニュースが流れたことがあります。ID・パスワードの管理にはデータベースが使われます。データベースの設計・管理・運用を行う際は、セキュリティに関する知識・技術も求められます。

データベースは、近年のコンピュータシステムでは必要不可欠になっています。また、最近では、人工知能(AI)の利用が急速に進んでいます。人工知能に学習させるためにビッグデータと呼ばれる膨大なデータの管理が必要になっていきます。これに伴い、データベースエンジニアの需要も高まっています。

データは、会社の経営者が経

営戦略を考えるなど、重要な企業活動で利用されています。データベースエンジニアは、企業活動を支える重要なお仕事といえるでしょう。



筆者
専任教師 青木 聡

CG 四方山話

リアルタイムレンダリングとプレレンダリング

3DCGには「リアルタイムレンダリング」と「プレレンダリング」という2種類の画像生成方法があります。簡単に言うと、映画などの映像で使用されるものは「プレレンダリング」、ゲームのコントローラーによって動くCGは「リアルタイムレンダリング」となります。

プレとは「以前の」「前の」という意味で「プレビュー」という言葉はご存じだと思います。プレの対義語にはポストという言葉があり、映像制作の業界では、「ポストプロダクション」という業種があり、編集などの作業を行う会社のことを指します。つまり、撮影などの制作(プロダクション)の後(ポスト)に行う編集などの作業を行うという意味です。

3DCGではモデリングやアニメーションなどの作業が完成したら「レンダリング」という工程で3DCGデータを画像デー

タや映像データへ書き出します。その処理を「リアルタイムレンダリング」ではデータからゲームのコントロールに依りて、文字通りリアルタイムに画像を生成します。つまり瞬時に完成した画像を表示するのです。

少し前まではゲーム機の性能に依りて、リアルタイムレンダリング用のデータは、できるだけ軽くすることが求められていました。「ローポリゴン」という言葉は聞いたことがあると思います。初期の格闘ゲームの画像を思い出してください。キャラクターは決してリアルではなく、データサイズに依りたデザインで制作されていました。

現在ではゲーム機の性能が格段に良くなり、リアルタイムレンダリングでもかなりリアルな画像を表現できるようになりました。なかには、霧や水流などの高度な処理を必要とする表現も、ゲーム機の進化とともに

CGクリエイターの様々な技術の工夫によって可能になってきました。また、3DCGのモデルに貼り付けている「テクスチャ」と呼ばれる画像表現もリアルタイムで高精細に表現できるようになったこともゲーム機の性能が良くなったおかげです。



一方「プレレンダリング」は事前に(プレ)レンダリングを行うので「プレレンダリング」と呼ば

れています。プレレンダリングした画像はその後、編集作業などで、実写映像と合成をしたり、コンポジットと呼ばれる作業を行います。すなわち「プレレンダリング」は完成品ではなく素材として制作されるものです。

「プレレンダリング」はコンポジットという作業工程で、明るさや色、メリハリなどを後から調整をして、リアルな表現を可能にしています。映画などで実写と見分けがつかないほどになるのは、このコンポジット作業の成果なのです。今回はコンポジットについて説明をしたいと思います。

筆者
専任教師 馬場 健一

くちびるに歌を持って

神奈川県立大楠高等学校 合唱部・吹奏楽部



合唱部と吹奏楽部の兼部
現在は合唱部と吹奏楽部の人数が合わせて7名と、少ないため部員は兼部しながら活動しています。そのような状況のなかでも、合唱部・吹奏楽部は、年間を通じて様々なイベントに積極的に参加しています。



様々なイベントに参加
合唱部は、5月の横須賀芸術劇場でのコンサートや、秋の文化祭、自衛隊とのコラボ、県高校合唱祭、卒業コンサートなど様々な活動を行っており、公演時

は足りないパートをフォローする形でOBやOGにも参加してもらいます。また、昨年、一昨年と、近隣の追浜高校の合唱部と合同で「NHK全国学校音楽コンクール」に出場しました。

音楽を楽しむ

吹奏楽部も、初心者を含めた少ない人数で、野球部の応援などの活動をしています。今年は、横須賀明光高校の吹奏楽部と合同で応援の演奏をしました。

合唱部とは、曜日を分けて自主練をしながら日々練習しているそうです。少ない人数ですが、アンサンブルはとても迫力があり、音楽を楽しんでいると感じました。

また、部員の誕生日には、誕生パーティが開催されていて、そのパーティの内容は部員の個性や趣味を活かしているそうです。た



例えば、カラオケやラーメン屋さんに行ったりしています。

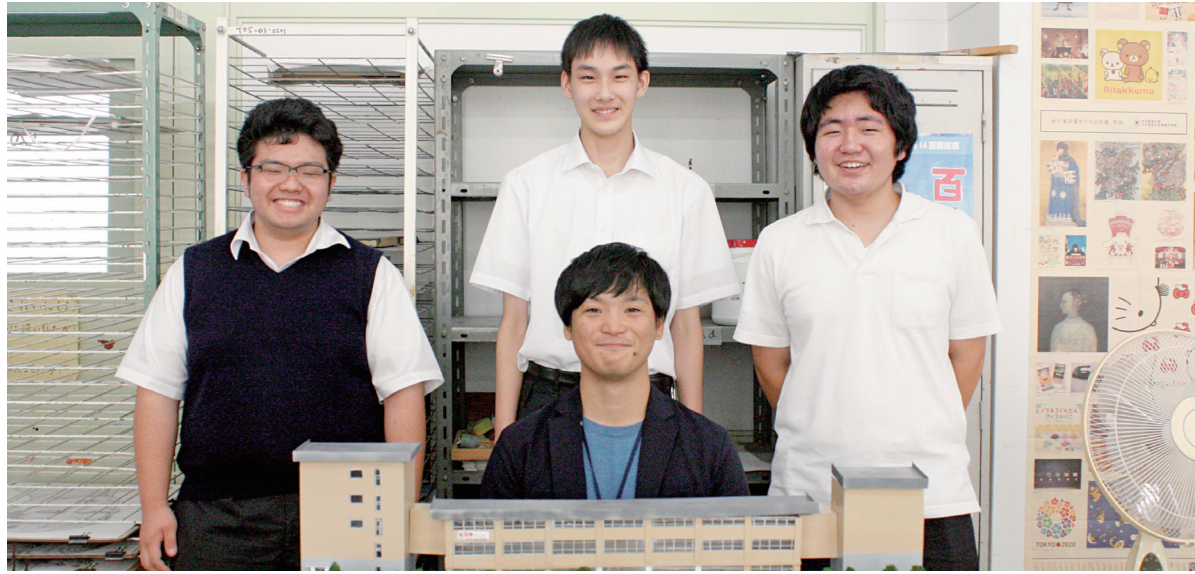
来年は、横須賀明光高校と統合するので、大楠高校最後の合唱部・吹奏楽部として、毎日、練習に励んでいきたいということです。

顧問からの一言

音楽をやりたいと思っ
ている生徒がいたら、可能性を伸ばし、そして広い世界を見せたいと思います。

今後は鉄道ジオラマ以外にも挑戦したい

神奈川県立金沢総合高等学校 鉄道研究部



ジオラマコンテスト入賞
鉄道研究部は、現在3名で活動しています。活動の柱として、例年7月に行われる「鉄道模型ジオラマコンテスト」に参加するためのジオラマ制作をしています。



このジオラマのアイデアは毎年1月頃から考えます。今年は金沢総合高校をモチーフにした、ジオラマを制作しました。

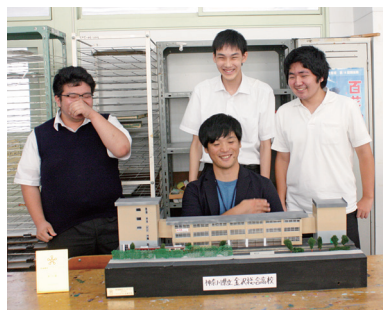
新しい試みで盛り上げたい

秋の文化祭では、机を並べて、大きな線路を用意して、Nゲージの車両を走らせています。

今年新しい試みとして、鉄道写真を飾ったり、プラレールを展示するなどして文化祭を盛り上げていきたいということです。



部員同士は仲が良く、多
少体育会のノリもありながらも、楽しく和気あいあいと活動しています。時にはOBの先輩も顔をだして、ジオラマ制作を手伝ってくれることもあるそうです。



今後の目標

今後は新入部員が多く入ってくれるように、ジオラマ制作以外にも写真を撮ったり、鉄道に行くなど幅広く鉄道研究をする部にしていきたいと思っています。



顧問からの一言

少ない人数ですが、日々頑張って活動しています。これからも、想像力のパーツを列車のようにつないでいってほしいと思います。

好きな音楽を楽しく演奏

神奈川県立相模向陽館高等学校 吹奏楽部

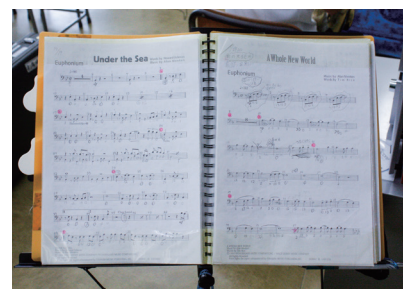


野球部の応援で演奏
吹奏楽部は、少ない人数ながら、積極的に活動をしている部活です。好きな楽器を演奏できたり、部としてやりたいことができる自由な雰囲気です。部活動とこのことです。



吹奏楽部の活動は、野球部の応援団としての演奏を今年の夏に初めて行いました。現在の部員数は5名ですが、横浜旭陵高校との合同チームとして演奏をしました。野球部は1回戦を勝ち抜き、秋の文化祭でも演奏を披露する予定です。

楽器の担当は、本人の希望や体格などの適正を考慮して、決めていくそうです。今年は、顧問の先生も一緒に演奏に加わるため、先生も必死で練習をされていました。



演奏する曲は、野球の定番の応援ソングと、秋の文化祭では、だれでも知っているメジャーな曲を披露する予定です。

コンクール出場を目標に

楽器の担当は、本人の希望や体格などの適正を考慮して、決めていくそうです。今年は、顧問の先生も一緒に演奏に加わるため、先生も必死で練習をされていました。



仲間からの一言

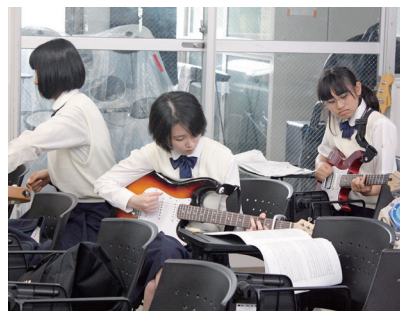
音楽は、人生を豊かにしたり、他の人を励ましたりできます。一音に集中している時の楽しさや合奏した時のハーモニーの気持ちよさ、そういう音楽に携わる楽しさを感じられる活動がしたいです。

文化祭に向けて日々練習中

清心女子高等学校 軽音楽部



秋の文化祭に向けて
軽音楽部は、週二回の活動で現在、15名が在籍しています。楽器の初心者が多く、まずは自分で演奏したい楽器を決め、バンドメンバーを決めます。演奏する楽器は、ギター、ベース、ドラムの3ピースバンドが基本です。その後、演奏したい曲を決めて、秋の文化祭に向けて練習しています。



楽器も基本的には、自分でアルバイトをしながら、用意しました。週2回の放課後の活動時間の

練習時間では足りないのですが、夏休みも練習しています。



部員同士のつながり

軽音楽部に入部することで、楽譜が読めるようになったり、人前で演奏するというのが良い経験になっています。みんな、曲を演奏することは、とても楽しく、軽音楽部に入って良かったと思える瞬間だそうです。

また、各部員の個性はそれぞれ異なりますが仲が良く、クラスやコース、学年を越えて交流で

きるところも魅力だと思います。今後は、校外の大会にもエントリーしたいと思っています。それまでには、練習をしてもっと技術を上げていきたいということです。



仲間からの一言

生徒には、自信を持ってほしいと思っています。また、ステージに立ってやり遂げたという、達成感を味わってほしいと思います。

サッカーのルールを知って楽しもう!

個人技「トラップ」を知ろう!



サッカーの個人技は、ゴールチャンスを生むだけではなく、観るものをエキサイトさせるシーンの1つです。個人技にはいろいろありますが、今回はその中でボールを受けるときの「トラップ」について解説していきたいと思います。

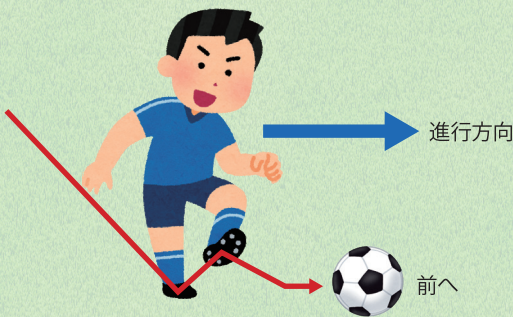
【トラップ】

飛んできたボールを身体で受けて、すぐに次の動きにつながる場所にボールをコントロールするプレイのことです。ファーストタッチ、ファーストコントロールともいいます。

ボールを受けの際に競っている相手に罠を仕掛けるという意味でトラップと言う人もいますが、ボールに罠を仕掛けて捕まえるような動作であることから「トラップ」と名付けられたようです。

ウェッジコントロール

ボールが地面についてバウンドする瞬間に足をボールにかぶせて勢いを吸収し、進行方向に転がす技です。ボールを受けると同時にバウンドを抑えて前方に走りこむ時に使います。



クッションコントロール

ボールが身体に当たる瞬間に足や体を引いてボールの勢いを吸収し、足元に落とす技です。足元にボールを置いて、自分の時間を作ったり、みんなの動きをそろえたり、ゆっくり回したい時に使います。



ノートラップシュートとは、その名の通り、トラップしないでそのままシュートを放つことです。他にも、トラップと同時に相手を抜き去る「ベルカンプターン」や「バックフックシャペウ」など高度なトラップ技もあります。トラップは地味な個人技ではありますが、大きくパスを受けた時に得点チャンスを作る見せ場のシーンでもあります。うまくトラップして次のプレイにつなげられるか注目してみてください。

筆者：専任教師 富永英世

全国大会を目指して

神奈川県立吉田島高等学校 測量部



すごい仲間たち

目標は全国大会

測量部は、現在9名で構成されていて、週一回、放課後に活動しています。校庭を使用して練習をするため、天候に左右されやすく、今季は雨が多く練習する機会が少なくなっているそうです。主な活動は、毎年夏に行われる、測量競技会に向けて日々練習をしています。



今年2年ぶりに県大会予選を突破して、10月に山形県で行われる全国大会に県の代表として出場することが決まりました。全国大会に出場するとい

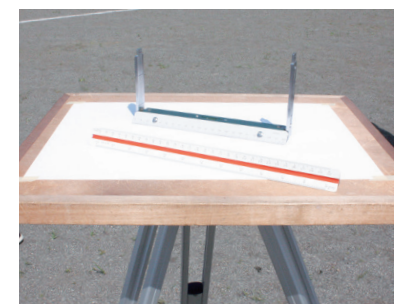
う目標を持つことで、達成感を得ることができ、自信にも繋がります。また、3人一組で行うため、チームワークも養うことができます。この部活動は、全国大会に出場できるチャンスがあることも魅力のひとつです。



基本の技術を大切に

測量の最新の技術は、レーザーなどを用いて行いますが、測量部では、基本のアナログの方式を踏襲しています。常に基本に立ち返り、アナログの技術を積み重ねること、最新の技術も理解することができるということです。

部活動は、明るく、アットホームな雰囲気で行われています。また、部活動の成果が授業にも生かされているので、勉強にも役立つというのでした。



顧問からの一言

日々の練習の成果を、全国大会で発揮してほしいと思います。

YSe^{eye} YSE QUARTERLY MAGAZINE

| 2019年 秋号 |



文部科学大臣認定「職業実践専門課程」認定校 ISO25996第三者評価認証校
横浜システム工学院専門学校
YOKOHAMA SYSTEM ENGINEERING COLLEGE

■ IT・ゲームソフト科

■ グローバル IT ビジネス科

■ ロボット・IoTソフト科

■ IT ライセンス科 (通信制)

■ AI サービス活用科

〒241-0826 横浜市旭区東希望が丘128-4 (TEL) 045-367-1881 (E-mail) info@yse-c.net (URL) http://www.yse.ac.jp